

JAC創立100周年記念国内登山(中央分水嶺踏査)の山行報告書

(1)～(8)は必ず記入してください。(9)～(11)は、気づいた事項があれば記入してください。

(1) 担当支部:	北海道支部	(2) 記載者氏名	佐藤 守	会員番号:	13431	事務局整理記入欄	北海道 - 243
分水嶺区分:	H200雲石峠～P544～H199岩子岳～岩子岳東稜	(3) 山行日:	2006年	3月	26日	(4) 天候	雪のち曇り

(5) 参加者氏名および会員番号

サポート要員氏名および会員番号

佐藤 守	13431						
秋元 節男	7164(団体)						
島田 勝	7164(団体)						
斉藤 幸一	7164(団体)						
計				4名			
計				名			

(6) 山行記録・位置確認(出発点・ピーク・峠・到達点など、主要ポイントに関して)・所要時間・道の状況

コース概略:		雲石峠 P544 H199岩子岳 東稜肩 P544 雲石峠											
アプローチ:		札幌 長万部 八雲 雲石峠 (往復)											
地点コード	地点名	2.5万分の1 地形図名	経度E			緯度N			高度 m	到着 時刻	出発 時刻	道の 状況	(8)～(11)の特記 事項等との関係
			度	分	秒	度	分	秒					
歩行開始点	雲石峠	遊楽部岳											
分水嶺到達点H200	雲石峠	遊楽部岳	140	5	27.00	42	10	52.56	430		9:15	B-4	踏査済
	P528	遊楽部岳	140	5	8.51	42	11	6.06	528	9:45	9:50	B-4	踏査済
	P544	遊楽部岳	140	5	13.08	42	11	46.97	544	11:20	11:25	B-4	
	デルタ状雪田	遊楽部岳	140	5	5.93	42	11	55.47	590	11:45	11:55	B-4	(9)
H199	岩子岳	遊楽部岳	140	4	59.64	42	12	4.29	802	12:30	13:00	B-4	
分水嶺離別点	岩子岳東稜肩	遊楽部岳	140	5	20.04	42	12	6.52	630	13:30	13:30	B-4	踏査済
歩行終了点	雲石峠	遊楽部岳	140	5	27.00	42	10	52.56	430	15:45		A-1	
総歩行時間(休憩時間を除く):											5時間40分		

(7) 三角点の位置と保存状況

上記(6)の地点コードを 記入してください	点名	等級	方位	保存 状況	特記事項
H199	岩子岳				積雪のため三角点は発見できず

(8) 人工施設の現況および地形図との相違点

(9) 水および植生に関連した特記事項

岩子岳南稜は雪で覆われていたが、45度から50度程度の急斜面に小指程度の太さの灌木がまばらに生えている。 下部のデルタ状雪田はデブリで埋まっており、積雪期の登攀は注意を要する。

(10) その他の特記事項

午前7時50分雲石峠に到着。八雲では8 あった外気温が氷点下になり雨が雪に変わる。強風が唸り車体が揺れている。 偵察を含め3度目の挑戦であり、不退転の覚悟で天候の回復を待つ。午前9時、寒冷前線が通過した模様で風が弱まる。 濃いガスで視界が全く利かない中、すぐに出発。528ピークを過ぎ次のピークに向かい北上。ピークを過ぎ中央分水嶺から1本北西 よりの広い尾根を進み約30分のロス。中央分水嶺に戻ってからは迷う事なく岩子岳南稜へ向かう。複雑な地形から痩せ尾根上の 雪庇の張り出す方向が一定していない。岩子岳南稜直下のデルタ状雪田を登り、抜け口手前から左の灌木帯の急斜面に取り 付く。ザイルは使用しない。固雪に12本爪アイゼンがよく効く。雪田の上部から約30分でペンケ岳からの稜線と交わる。 更に北西に50m進み山頂到着。下山はペンケ岳寄りの肩から。

(11) 写真の添付:(有りの場合には、写真説明を記入してください)

写真説明: